

令和元年度地方創生推進交付金事業の効果検証

1. 交付金事業名	香港における南部広域観光・物流促進事業(鹿児島県南部広域観光物流実行委員会)			
2. 総事業費(円)	3,625,509円(指宿市分) ※他自治体(南九州市, 南さつま市, 枕崎市, 南大隅町)も同額			
	うち交付金額(1/2以内)	1,810,233円(指宿市分) ※他自治体(南九州市, 南さつま市, 枕崎市, 南大隅町)も同額		
3. 事業概要 (交付金を充当した事業)	<p>①【旅行代理店との連携強化事業】 旅行代理店と連携したプロモーションの実施</p> <p>②【国又は県等のプロモーション戦略との連携事業】 国又は県が策定する「訪日プロモーション方針」等に沿ったプロモーションの実施</p> <p>③【プロモーションイベント等への出展及び雑誌等掲載事業】 香港最大級のイベントであるブックフェア等への出展及び有力な雑誌またはガイドブック等における本エリア特集記事の掲載</p> <p>④【交通広告事業】 トラム・バス等へのラッピングによるプロモーションの実施</p> <p>⑤【海外輸出プロモーション事業】 海外において本地域を中心とした物産展を開催し, 販売促進と知名度向上の機会を創出する。また, 県等が海外で実施する輸出促進事業と連携し, 本地域産品の輸出を更に図るためのプロモーションの実施</p> <p>⑥【国内輸出商談会出展事業】 国内で開催される大型輸出商談会への出展</p> <p>⑦【輸出スキルアップ事業】 JETRO連携伴走型バイヤー招請事業, 県等と連携した共同商談会</p>			
4. R1年度事業終了時における目標値(KPI)に対する実績値	目標指標		目標値	実績値
	①	本エリアに宿泊する香港からの観光客数 R1年度増加分	1,778人増加	▲230人
	②	本事業による商談件数 (R1年度増加分)	15件増加	▲148件
	③	本事業による成約件数 (R1年度増加分)	5件増加	▲19件

<p>5. 数値以外の事業効果や実績</p>	<p>(観光部門) H28年度に本実行委員会で策定した「香港を中心としたアジア圏域からの誘客戦略」によると、旅行先の情報収集において、旅行週刊誌や月刊誌などの紙媒体やSNSを含むWeb媒体、交通機関を活用した情報発信が有効とされている。長期にわたるデモなどでの香港国内の情勢が悪化しているにも関わらず、年間23,696名が訪れていることから、様々な媒体を活用した情報発信を行ったことにより、知名度が向上し、誘客につながったのではないかと考えられる。</p> <p>(商工部門) JETROや県貿易協会等と連携し輸出に向けた体制が整った事業者等を対象に、輸出セミナーの実施や、台湾での富裕層向けのスーパーで物産展の開催や現地シェフへの業務用向け商品の販路開拓支援を行った。 また、マカオにおいては、大手外食チェーンでレストランを展開する「佳景集団」関係者を鹿児島に招請し産地視察や商談を実施した。アメリカにおいては、ロサンゼルスにあるニジヤマーケット10店舗において開催した「鹿児島フェア」に参画した。 なお、輸出に向け実践的に意識向上を図るため、鹿児島市内で開催された輸出商談会への出展や海外ビジネスに精通する支援員により貿易実務レベルや段階に応じた支援を行った。</p>	
<p>6. 地方創生への事業効果 (選択肢は国の報告書に同じ)</p>	<p>① 地方創生に非常に効果的であった 例: 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p> <p>② 地方創生に相当程度効果があった 例: 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③ 地方創生に効果があった 例: KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合</p> <p>④ 地方創生に対して効果がなかった 例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとはいえないような場合</p>	<p>該当番号</p> <p>②</p>
<p>7. 今後の事業方針 (選択肢は国の報告書に同じ)</p>	<p>① 事業の継続 計画通りに事業を継続する</p> <p>② 事業の発展 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる</p> <p>③ 事業の改善 事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った)</p> <p>④ 事業の中止 継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した)</p> <p>⑤ 事業の終了 例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとはいえないような場合当初予定通り事業を終了する(または、した)</p>	<p>該当番号</p> <p>①</p>

	<p>(観光部門) 香港は本地域のインバウンドの中核を担うエリアであるため、引き続き戦略的なターゲットエリアとして位置づけ、誘客を促進する事業展開が必要である。しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により人の移動制限や入国規制による航空便の減便・欠航など、旅行需要の回復の見通しが立たないことから、現地でのプロモーションではなく、各市町がそれぞれ戦略に基づいた受入環境整備等の事業を実施する。</p> <p>[KPI①参考] 事業開始前 8,892人 平成29年度 KPI:3,556人増 → 実績:20,682人増(宿泊者累計:29,574人) 平成30年度 KPI:1,779人増 → 実績:▲5,648人(宿泊者累計:23,926人) 令和元年度 KPI:1,778人増 → 実績:▲230人(宿泊者累計:23,696人) KPI目標値 3カ年で7,113人増 → KPI増加分の累計 14,804人</p> <p>(商工部門) これまで、指宿市を含む5市町で構成する鹿児島県南部広域観光物流実行委員会で地方創生推進交付金(香港における南部広域観光・物流促進事業)を活用し事業を実施してきました。 令和元年度で交付金が終了し、今年度においては指宿市単独で輸出事業を実施予定ですが、新型コロナウイルスの影響により事業の実施が不透明であります。 現在、予定している事業として、台湾での富裕層向けのスーパーにおいて販売や知名度向上、販路拡大を目的としたプロモーション事業や、県貿易協会と連携した事業を予定しております。</p> <p>[KPI②参考] 事業開始前 0件 → 3カ年で55件増(H29年度:20件, H30年度:H29年度+20件増加, 令和元年度:H30年度+15件増加) 平成29年度 KPI:20件 → 実績:289件 平成30年度 KPI:H29年度+20件増 → 実績:▲66件(商談件数:223件) 令和元年度 KPI:H30年度+20件増 → 実績:▲148件(商談件数:75件)</p> <p>[KPI③参考] 事業開始前 0件 → 3カ年で13件増(H29年度:3件, H30年度:H29年度+5件増加, 令和元年度:H30年度+5件増加) 平成29年度 KPI:3件 → 実績:41件 平成30年度 KPI:H29年度+5件増 → 実績:▲8件(成約件数:33件) 令和元年度 KPI:H30年度+20件増 → 実績:▲19件(成約件数:14件)</p>
9. 事業評価等を踏まえた総合戦略の見直しの有無	特になし
10. 事業評価等を踏まえた総合戦略の見直し(案)	特になし

令和元年度地方創生推進交付金事業の効果検証

1. 交付金事業名	食の宝庫かごしま 食と農の競争力強化事業
2. 総事業費 (円)	18,509,250円(指宿市分) ※他自治体(鹿児島県, 日置市, 霧島市, いちき串木野市)
うち交付金額(1/2以内)	9,254,625円(指宿市分)
3. 事業概要 (交付金を充当した事業)	<p>①【事業名:機能性健康実証結果が得られた主要産品(オクラ, 鰹本枯本節)などを活用した, 付加価値向上のための商品開発への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指宿市が機能性の効果検証を行い優良な効果が得られた食品(オクラパウダー, 鰹本枯本節)を活用した商品開発への支援 ・指宿市産農畜水産品を活用し化学調味料無添加等の付加価値の高い商品開発への支援 <p>②【事業名:現役バイヤーや地域商品卸商社との連携による, 地域の農畜水産品を活用した商品開発及び商品のブラッシュアップから販路開拓までの一貫したスキル取得支援と実践機会(商談会等)の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発セミナーや販売セミナー, 個別相談会及び小規模商談システムを活用した初期販路支援の実施 ・地域商品卸商社と連携し大規模商談会での出展効果の向上を図る事業 ・都市部で開催される商談会への出展に係る使用料等 ・都市部での市場競争やマーケットに適応した商品へのブラッシュアップへの支援 <p>③【事業名:首都圏における市及び県内事業者の販路拡大に向けた農畜水産物・食品の商談会(薫るいぶすき商談会)の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の中小規模の事業者の首都圏における販路開拓の足がかりとなる商談会の開催(薫るいぶすき商談会:東京開催)の開催 ・商談会開催に係るバイヤー招聘費等 <p>④【事業名:都市部における事業者の自主的な販路開拓, 販売展開を促進するための商談会・物産展などへの出展支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市部の商談会, 物産展等への出展支援 <p>⑤【事業名:都市部の質販店との継続的な商流を構築しながら地域産品の販売強化を図るための, 指宿フェア開催やバイヤー等招聘による商品ブラッシュアップ支援・産地体験などの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のこだわり商品を販売している質販店での指宿フェアに係る需用費等 <p>⑥【事業名:官民連携による, 市の主要地域産品(指宿鰹節(鰹本枯本節), オクラ, 豆類)のブランド化及び知名度向上に向けた, 首都圏レストランフェア等の開催や, 有名料理人等を招聘した製造体験, オクラの健康効果などを生かした高品質ブランド化広告などの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指宿鰹節(鰹節の最高級鰹本枯本節)のブランド化に向けた首都圏でのレストランフェア等, 有名料理人等招聘製造体験, 大手コンビニとの連携事業の実施 ・市産オクラの高品質性を印象づける機能性を活用した広告の実施

	目標指標		目標値	実績値
	4. R1年度事業終了時における目標値(KPI)に対する実績値	①	本事業による農林水産物、加工食品等の商談成立件数(R1年度増加分)	10件増加
	②	本事業による販売促進活動件数(R1年度増加分)	2件増加	36⇒▲10 (H31.3末:46件)
	③			
5. 数値以外の事業効果や実績	<p>(商工部門) 市地域産品の販売を促進するため、市、指宿商工会議所、菜の花商工会が組織する「もうかる指宿クラスター協議会」と郷土会が連携した東京都内での商談会(薫るいぶすき商談会)の開催や、大規模商談会への出展支援、主要産品の知名度向上事業を実施した。 また、販売支援セミナーや、食品衛生表示法の改正に伴う事業支援、地域資源を活用した商品開発支援を実施し、事業者の育成及び商品強化を行った。</p> <p>(農政部門) もうかる指宿クラスター事業(農政分)では、オクラ・豆類のフェア前にシェフを招き、生産者との交流する機会を設けたこともあり、特産品そのものだけでなく、指宿に対する特別な「想い」を持って頂け、レストランフェアにおいても、シェフが指宿のPRをしてくださる展開となった。また、メディア関係者や食業界の方をはじめ、SNS等で食に関する情報発信力のある方々を招き、指宿食材の魅力を多数発信して頂ける結果となった。 同事業に関連し、地域産品の付加価値向上・ブランド化支援を目的に有名シェフ等が開催した第1回「食べるJAPAN」セレクションにおいて「まめこぞう」をエントリーした結果、有名シェフ等の審査基準を満たした認定商品として選定される展開となった。</p>			
6. 地方創生への事業効果 (選択肢は国の報告書に同じ)	① 地方創生に非常に効果的であった			該当番号
	例: 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合			
	② 地方創生に相当程度効果があった			②
	例: 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合			
③ 地方創生に効果があった				
例: KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合				
④ 地方創生に対して効果がなかった				
例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合				
7. 今後の事業方針 (選択肢は国の報告書に同じ)	① 事業の継続			該当番号
	計画通りに事業を継続する			
	② 事業の発展			②
	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる			
	③ 事業の改善			
事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った)				
④ 事業の中止				
継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した)				
⑤ 事業の終了				
例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合当初予定通り事業を終了する(または、した)				

<p>8. 上記「今後の事業方針」を選択した具体的な理由と、今後の事業方針の具体的内容</p>	<p>(商工部門) 新型コロナウイルスの影響により、販売セミナーや市、指宿商工会議所、菜の花商工会が組織する「もうかる指宿クラスター協議会」と郷土会が連携した東京都内での商談会(薫るいぶすき商談会)の開催を中止とし、現在の状況で最も事業者育成と販売促進に効果が見込めるWEB活用による本市特産品の販売展開事業を実施している。 また、県及び指宿市を含む県内の自治体が広域連携で実施する「令和2年度地方創生推進交付金(食の宝庫かごしま 食と農の競争力強化事業)」において、事業継続を図る。</p> <p>(農政部門) 効果が十分に出てきていることから、令和2年度も引き続き事業実施していく計画である。</p>
<p>9. 事業評価等を踏まえた総合戦略の見直しの有無</p>	<p>特になし</p>
<p>10. 事業評価等を踏まえた総合戦略の見直し(案)</p>	<p>特になし</p>

令和元年度地方創生推進交付金事業の効果検証

1. 交付金事業名	ICT&SIBの活用により健康長寿化と扶助費の増加抑制を可能とする飛び地連携型大規模ヘルスケア事業			
2. 総事業費(円)	19,139,508円(指宿市分) ※他自治体(山口県宇部市, 岩手県遠野市, 京都府八幡市, 埼玉県美里町)			
うち交付金額(1/2以内)	9,569,754円(指宿市分)			
3. 事業概要 (交付金を充当した事業)	<p>加速する高齢化と人口減に伴う地域活力の低下, 医療費・介護給付費等扶助費の増加といった課題解決のため, 県境を跨ぐ5自治体がICTを活用することで連携し, これまでの健康施策の見直し及び, ソーシャルインパクトボンド(SIB)の手法による大規模ヘルスケア事業の展開を図る。</p> <p>①【中間支援業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーとの調整 ・KPI達成に向けた推進支援 ・SIB手法の導入に向けた調整及び検討 ・KPI達成度による成果報酬の検討 <p>②【評価業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5自治体のヘルスケア事業の分析方針, 評価方法の検討 ・アンケート調査設計・分析作業 ・歩数, 体組成データの分析 ・分析結果報告書の作成 <p>③【サービス事業者への委託業務(健幸ポイントプロジェクト等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業運営業務 ・導入機器 ・システム利用業務 ・人材育成業務 <p>④【その他諸経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動スポーツ習慣化推進検討会委員出席謝礼 ・事業実施に係る消耗品費 ・事業内容周知に係る説明資料印刷費 ・参加勧奨通知, アンケート, 商品券発送等郵送料 ・健幸アンバサダー養成講座開催のための自治体負担金 <p>⑤【備品購入費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モバイルルーター, パソリ 			
4. H30事業終了時における目標値(KPI)に対する実績値	目標指標		目標値	実績値
	①	ICTヘルスケアサービスの参加者(2018年度からの継続参加者含む)(開始時点757人)	総参加者数 1,000人	1,031人
	②	健幸アンバサダー養成人数(開始時点105人)	総養成人数 205人	205人
	③			

5. 数値以外の事業効果や実績	<p>①R1年度新規参加者の1日当たりの平均歩数については、参加時より3か月後には1,722歩(4,897歩→6,619歩)増加。特に、運動不十分層においては、1,912歩(4,207歩→6,119歩)の増加が確認された。</p> <p>②ポイントの交換商品に、中小規模店舗専用の商品券を設定し市内店舗での消費拡大に取組んだ。参加者の総獲得ポイント数4,027,000ポイントのうち、3,841,500ポイント(円分)が交換ポイントとして地域商品券に交換された。</p> <p>③本事業に参加する決め手となった情報源として、家族・友人からの口コミと答えた参加者の割合が62%で第1位であった。</p>	
6. 地方創生への事業効果 (選択肢は国の報告書に同じ)	<p>① 地方創生に非常に効果的であった</p> <p>例: 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</p>	該当番号
	<p>② 地方創生に相当程度効果があった</p> <p>例: 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p>	①
	<p>③ 地方創生に効果があった</p> <p>例: KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合</p>	
	<p>④ 地方創生に対して効果がなかった</p> <p>例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</p>	
7. 今後の事業方針 (選択肢は国の報告書に同じ)	<p>① 事業の継続</p> <p>計画通りに事業を継続する</p>	該当番号
	<p>② 事業の発展</p> <p>事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる</p>	①
	<p>③ 事業の改善</p> <p>事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った)</p>	
	<p>④ 事業の中止</p> <p>継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した)</p>	
	<p>⑤ 事業の終了</p> <p>例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合当初予定通り事業を終了する(または、した)</p>	
8. 上記「今後の事業方針」を選択した具体的な理由と、今後の事業方針の具体的な内容	<p>R1年度におけるKPI実績値は、目標値をクリアしており、参加者の1日当たりの平均歩数も増加している。また、これらの取組みにより参加者が獲得するポイントについても、地域商品券として地域に還元される仕組みとなっており、今後、参加者拡大に伴う効果は、地域の活性化に寄与するものと考えられる。</p> <p>また、連携する自治体と課題を共有し、解決に向けた施策提案を協議する場が設けられていることで、有識者からの助言を求めることも可能となり、より精度の高い施策判断が可能となる。</p> <p>具体的な医療費抑制効果等の分析はこれからであるが、継続に向けた5市町連携事業等も実施し、健康づくりの意欲の向上に繋がる事業として、医療機関との連携をはじめ、企業単位での参加勧奨など、今後も規模の拡大を行いながら、健康づくり事業におけるモデル事業となるよう努めたい。</p>	
9. 事業評価等を踏まえた総合戦略の見直しの有無	特になし	
10. 事業評価等を踏まえた総合戦略の見直し(案)	特になし	